



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1751		
科目名	中国語 I		
担当教員	清水 享		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 5		
講義室	1206	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	語学		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D 市民的素養・市民的教養 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP2-A 日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し 互恵関係を構築することができる。 DP6-K 表現力・対話力 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A1 グローバル感覚(15%) A2 異文化適応(15%) D1 市民的素養と参加(10%) K1 ライティング・コミュニケーション(30%) K2 オーラル・コミュニケーション(30%)		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■ 成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進行情 ~ 3 発展期		

科目概要・キーワード	中国語の発音と初歩の会話、文法の習得を目指します。発音の基礎である韻母(母音)、声母(子音)、声調とあいさつや自己紹介などの初歩的な会話を学習します。発音の練習を徹底的に行い、テキストの音読と会話の反復練習を進めます。また適宜文法の解説もします。さらに中国語の背景にある中国の社会や文化についても紹介します。外国語としての中国語を発音と初歩的な会話及び文法を学ぶことにより実際に役に立つコミュニケーション能力を身に付けます。授業形態は演習により行います。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合があります。 ■キーワード 漢語・普通話・ピンイン・簡体字													
授業の趣旨	■副題 初級中国語の発音・文法・会話を学びます。 ■授業の目的 初級中国語の発音・文法・会話の基礎の習得を目的とします。 ■授業のポイント 中国語の発音および初歩的な会話と文法を学習します。発音の練習を徹底的におこない、テキストの音読と会話の反復練習および文法の学習を進めることにより、中国語会話の基礎を習得することができます。言葉の背景にある中国の社会や文化についても理解を深めることができます。													
総合到達目標	■中国語を学ぶことにより、グローバル感覚や異文化適応と市民的素養を身につけることができる。また初歩的な中国語のライティングとオーラルによるコミュニケーション能力も身につけることができる。 ・中国と中国語の概要を学んだ上で、中国語の発音と簡単な挨拶を学び、これを習得できるようになる。(第1～3回) ・中国語の初歩的な文法・会話の基礎および簡単な自己紹介を習得できるようなる。(第4～15回)													
成績評価方法	■発音・会話・作文練習等の授業参加度 毎回(30%) :適応ルーブリック A1・A2・D1・K1・K2 (評価の観点)授業の内容を踏まえて積極的に練習をすることを評価します。 (フィードバックの方法)授業の終わりにおさらいをします。 ■授業後の練習ペーパーの提出 5回(10%) :適応ルーブリック A1・A2・D1・K1・K2 (評価の観点)発音・文法・会話の理解度を評価します。 (フィードバックの方法)次の授業で添削したペーパーを返却します。 ■レポート 1回(60%) :適応ルーブリック A1・A2・D1・K1・K2 (評価の観点)発音・文法・会話の理解度を評価します。 (フィードバックの方法)テストの後で、講評します。													
履修条件	特にありませんが、中国語Ⅱ(RMGT/SSCS1751)以降も継続して履修したほうが効率的です。													
履修上の注意点	中国語はその発音の習得など、日本語を母語とするものにとってやや難しい点もあり、また文字が漢字であり日本語と共通するからといって、同じ系統の言語ではないことを了解しておいて下さい。また中国語を母語とする者(家庭内言語など)は本科目では学び得るものが少ないので、他の科目を履修することを推奨します。													
授業内容	<table><tr><th>回</th><th>内容</th></tr><tr><td>1</td><td>①授業テーマ：ウォーミングアップ ②授業概要：中国語と中国の概要の知識を得ることができるようになる。簡単な挨拶の練習し、習得することができるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分)：中国語と中国について調べる。④復習(60分)：中国語の簡単な挨拶を暗唱し、記憶する。</td></tr><tr><td>2</td><td>①授業テーマ：発音1 ②授業概要：声調と単母音と子音を練習し、習得することができるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分)：教科書付属のCDの発音部分をよく聴く。④復習(60分)：声調と単母音と子音を練習する。</td></tr><tr><td>3</td><td>③授業テーマ：発音2 ②授業概要：複合母音と鼻母音を練習し、習得することができるようになる。練習ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分)：教科書付属のCDの発音部分をよく聴く。④復習(60分)：複合母音と鼻母音を練習する。</td></tr><tr><td>4</td><td>①授業テーマ：第1課「あなたは中国人ですか」1 ②授業概要：人称代名詞、"是"の文を使った会話を学び、習得することができるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分)：教科書付属のCDをよく聴き、発音練習をする。④復習(60分)：単語、会話、文法をまとめる。</td></tr><tr><td>5</td><td>①授業テーマ：第1課「あなたは中国人ですか」2 ②授業概要：人称代名詞、"是"の文の文法を学び、習得することができるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2)</td></tr></table>		回	内容	1	①授業テーマ：ウォーミングアップ ②授業概要：中国語と中国の概要の知識を得ることができるようになる。簡単な挨拶の練習し、習得することができるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分)：中国語と中国について調べる。④復習(60分)：中国語の簡単な挨拶を暗唱し、記憶する。	2	①授業テーマ：発音1 ②授業概要：声調と単母音と子音を練習し、習得することができるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分)：教科書付属のCDの発音部分をよく聴く。④復習(60分)：声調と単母音と子音を練習する。	3	③授業テーマ：発音2 ②授業概要：複合母音と鼻母音を練習し、習得することができるようになる。練習ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分)：教科書付属のCDの発音部分をよく聴く。④復習(60分)：複合母音と鼻母音を練習する。	4	①授業テーマ：第1課「あなたは中国人ですか」1 ②授業概要：人称代名詞、"是"の文を使った会話を学び、習得することができるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分)：教科書付属のCDをよく聴き、発音練習をする。④復習(60分)：単語、会話、文法をまとめる。	5	①授業テーマ：第1課「あなたは中国人ですか」2 ②授業概要：人称代名詞、"是"の文の文法を学び、習得することができるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2)
回	内容													
1	①授業テーマ：ウォーミングアップ ②授業概要：中国語と中国の概要の知識を得ることができるようになる。簡単な挨拶の練習し、習得することができるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分)：中国語と中国について調べる。④復習(60分)：中国語の簡単な挨拶を暗唱し、記憶する。													
2	①授業テーマ：発音1 ②授業概要：声調と単母音と子音を練習し、習得することができるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分)：教科書付属のCDの発音部分をよく聴く。④復習(60分)：声調と単母音と子音を練習する。													
3	③授業テーマ：発音2 ②授業概要：複合母音と鼻母音を練習し、習得することができるようになる。練習ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分)：教科書付属のCDの発音部分をよく聴く。④復習(60分)：複合母音と鼻母音を練習する。													
4	①授業テーマ：第1課「あなたは中国人ですか」1 ②授業概要：人称代名詞、"是"の文を使った会話を学び、習得することができるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分)：教科書付属のCDをよく聴き、発音練習をする。④復習(60分)：単語、会話、文法をまとめる。													
5	①授業テーマ：第1課「あなたは中国人ですか」2 ②授業概要：人称代名詞、"是"の文の文法を学び、習得することができるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2)													

	③予習(60分):教科書付属のCDをよく聴き、発音練習をする。④復習(60分):単語、会話、文法をまとめる。
6	①授業テーマ:第2課「これは何ですか」1 ②授業概要:指示代名詞1、疑問詞疑問文、"的"の用法1、副詞を使った会話を学び、習得することができるようになる。練習ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分):教科書付属のCDをよく聴き、発音練習をする。④復習(60分):単語、会話、文法をまとめる。
7	①授業テーマ:第2課「これは何ですか」2 ②授業概要:指示代名詞1、疑問詞疑問文、"的"の用法1、副詞の文法を学び、習得することができるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分):教科書付属のCDをよく聴き、発音練習をする。④復習(60分):単語、会話、文法をまとめる。
8	①授業テーマ:第3課「あなたはどこに行きますか」1 ②授業概要:動詞の文、「所有」を表す"有"、省略疑問の"呢"を使った会話を学び、習得することができるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分):教科書付属のCDをよく聴き、発音練習をする。④復習(60分):単語、会話、文法をまとめる。
9	①授業テーマ:第3課「あなたはどこに行きますか」2 ②授業概要:動詞の文、「所有」を表す"有"、省略疑問の"呢"の文法を学び、習得することができるようになる。練習ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分):教科書付属のCDをよく聴き、発音練習をする。④復習(60分):単語、会話、文法をまとめる。
10	①授業テーマ:第4課「このかばんはいくらですか」1 ②授業概要:量詞、指示代名詞2、形容詞の文、"几"と"多少"を使った会話を学び、習得することができるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分):教科書付属のCDをよく聴き、発音練習をする。④復習(60分):単語、会話、文法をまとめる。
11	①授業テーマ:第4課「このかばんはいくらですか」2 ②授業概要:量詞、指示代名詞2、形容詞の文、"几"と"多少"の文法を学び、習得することができるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分):教科書付属のCDをよく聴き、発音練習をする。④復習(60分):単語、会話、文法をまとめる。
12	①授業テーマ:第5課「あなたは夜に用事がありますか」1 ②授業概要:数字、日付・時刻を表わす語、「動作の時点」を言う表現を使った会話を学び、習得することができるようになる。練習ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分):教科書付属のCDをよく聴き、発音練習をする。④復習(60分):単語、会話、文法をまとめる。
13	①授業テーマ:第5課「あなたは夜に用事がありますか」2 ②授業概要:数字、日付・時刻を表わす語、「動作の時点」を言う表現の文法を学び、習得することができるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分):教科書付属のCDをよく聴き、発音練習をする。④復習(60分):単語、会話、文法をまとめる。
14	①授業テーマ:第6課「ご飯食べましたか」1 ②授業概要:「完了」を表わす"了"、「所在」を表わす"在"、助動詞1"想"を使った会話を学び、習得することができるようになる。練習ペーパーを提出する。(A1・A2・D1・K1・K2) ③予習(60分):教科書付属のCDをよく聴き、発音練習をする。④復習(60分):単語、会話、文法をまとめる。
15	①授業テーマ:第6課「ご飯食べましたか」2、今学期学習のまとめテスト ②授業概要:「完了」を表わす"了"、「所在」を表わす"在"、助動詞1"想"の文法を学び、習得することができるようになる。また今学期学習のまとめテスト実施し、それを踏まえて初歩の中国語会話が習得できるようになる。(A1・A2・D1・K1・K2)③予習(60分):教科書付属のCDをよく聴き、発音練習をする。また今学期学習内容をまとめる。④復習(60分):まとめテストを踏まえ今学期学習した単語、会話、文法をまとめる。
関連科目	中国語Ⅱ(RMGT/SSCS1752)・中国語Ⅲ(RMGT/SSCS1753)・中国語Ⅳ(RMGT/SSCS1754)
教科書	竹島金吾監修、尹景春・竹島毅著『中国語はじめての一步』(最新2訂版)白水社 2012年
参考書・参考URL	初級のため、特にありませんが、必要な場合は授業中指示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 水曜3時限。それ以外にも研究室在室時に対応することもできます。
研究比率	



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.